補	助	ı :	事	業	名	築城飛行場	易関連公共	用施設(交	通施設:>	本庄6号線)	整備事業	id
補	助	事	業	者	名	築上町						
実		施	事	旦勿	所	福岡県築」	上郡築上町	大字本庄				
補	助	事	業(り目	的	から、 東京 東京 大 東京 大 大 大 に よ と に よ と に よ と に よ と に よ と に よ に よ に よ に に よ に に に に に に に に に に に に に	格幅員を拡い 急に拡幅を したもので 以降、当該	幅して欲し 実施する必 ある。 実施設計を の生活基盤	いとの要 要がある。 基に、調 の整備を	望があり、 と判断し、 整交付金事	工事時期 当該工事 業で工事	が困難なこと を検討したと に係る実施設 を実施するこ 飛行場の安定
補	助	事	業の	の内	容		十 一式(¹ 事 延長L:			=4.0m (-	平成 2 5 年	度以降)
補具	助事	業の	始期	及び約	佟期	平成24年	手度から平 り	成25年度				
							24年度	25年度 予定				計
事	業 費	, 及	び 交	付金	金額	事業費	円 3, 250, 000	円 40,000,000	円	円	円	円 43, 250, 000
						交付金額	3, 200, 000	36, 000, 000				39, 200, 000
補」	助事	業の)	成果	及び記	平価	工事が気設計の内容	完了してい: 容に対して	ないことか も地元の理	ら、具体的 解が円滑り	的な成果及 こ図れた。	び評価は、	できないが、
事今	業 <i>©</i>		善 か	策 及 対	び応	今後とも	ら地域住民の	の理解を得	ながら事刻	業を実施。		
	者機	関の	活月	しての	言無	////	- 田1 を相入					

補	助	J	事	業	名	築城飛行	厅場関連公	共用施設(交通施設:岁	安武86号	線)整備事	業
補	助	事	業	者	名	築上町						
実		施	į	旦勿	所	福岡県勢	& 上郡築上	町大字安武				
補	助	事	業(の 目	的	良舗装工事 事を実施す 交付金に	をしていほ る必要があ より工事を	しいとの要望ると判断し、 実施するこ	狭小で車両同望があり、工事を実施し 工事を実施し 上により、地域 こ寄与させる。	事時期を検言 したもの。 或住民の生活	付したところ	5、早急に工
補	助	事	業(の内	容	実施設言	十 一式					
補具	助事	業の	始期	及び;	終期	平成24年	F度から平	成26年度				
							24年度	25年度 予定	26年度 予定			計
事	業 費	及	び交	を付る	仓額	事業費	円 5, 000, 000	円 2, 500, 000	円 27,000,000	円	円	円 34, 500, 000
						交付金額	4, 900, 000	2, 250, 000	24, 300, 000			31, 450, 000
補具	助事	業の	成果	及び	評価				ら、具体的な 理解が円滑は		評価はでき	ないが、実
事今	業 <i>(</i>			策 及 対	が応	今後とも	地域住民	の理解を得	ながら事業を	と実施。		
				しての		無						

補	助	ı :	事	Ì		名	築城飛行場	易関連公共)	用施設(交	通施設:高	高塚82・	83号線)	整備事業
補	助	事	業	Ě	者	名	築上町						
実		施		場		所	福岡県勢	&上郡築上I	町大字高塚	•			
補	助	事	業	の	目	的	り通行に対に計上され必要がある交付金による	高塚自治会 を を は で に と り に と り に と り に と り に と り に と り に と り に と り に と り に に に に に に に に に に に に に	しているこ 工事時期を 、工事を実 実施するこ	とから、道 検討したと 施するもの とにより、	道路改良要 ころ、早か ころ、早か い。 地域住民	望について 急に工事を の生活基盤	地区計画実施する
補	助	事	業	の	内	容	実施設計	一式					
補」	助事	業の	始期	月及	び終	期	平成24年月	度から平成2	26年度				
								24年度	25年度予 定	26年度予 定			計
事	業 費	及	びる	どん	寸 金	額	事業費	円 6, 850, 000	円 2,000,000	円 70,000,000	円	円	円 78, 850, 000
							交付金額	6, 800, 000	1, 800, 000	65, 000, 000			73, 600, 000
補」	助事	業の	成果	上及	び評	価		宅了していた 受計の内容					きない
事今	業 <i>0</i> 後		: 善 の			び応	今後とも	地域住民	の理解を得	ながら事業	 きを実施。		
	業の記 者 機						無						

補	助	i -	事	業	名	築城飛行場	易関連公共月	用施設(交	通施設:顡	英城10号	線外2)	整備事業
補	助	事	業	者	名	築上町						
実		施	場	Î	所	福岡県築」	上郡築上町	大字築城				
補	助	事	業の) 目	的	ことから、 とかとまりに、 次年度に ることに 。	道路幅員を ころ、早急を を設計を実施 以降、当該等	を拡幅して こ拡幅を実 施したも 実施設計を 主民の生活	欲しいとの 施する必要 である。 基に、調整 基盤の整備)要望が 要がある 整交付金	あり、I と判断し 事業でI	合が困難な 事時期を検 、当該工事 事を実施す 、築城飛行
補	助	事	業の) 内	容		十 一式(⁵ 事 延長L:			0m (平	成25年	達度以降)
補具	助事	業の類	始期》	及び終	外期	平成24年	F度から平 _F	成26年度				
							24年度	25年度 予定	26年度 予定			計
事	業 費	及	び交	付 金	額	事業費	3,000,000	円 13,500,000	円 22,000,000	円	円	円 38, 500, 000
						交付金額	2, 950, 000	12, 200, 000	19, 800, 000			34, 950, 000
補具	助事	業の月	成果刀	及び割	平価	工事が気が、設計の	完了してい? の内容に対	ないことか しても地元	ら、具体的	りな成果。 日滑に図	及び評価 れた。	iはできない
事今	業 <i>0</i> 後			新 及 対	び応	今後とも	。地域住民	の理解を得	·ながら事業	きを実施。	o	
	者機	関の	活用	っての の有	無	////	.田 1 4 相 久			_		

補	助	j -	事	ž	Ě	名	築城飛行 工事) 動	万場関連公 整備事業	共用施設(通信施設:	防災行政	無線屋外子	局増設
補	助	事	業		者	名	築上町						
実		施		場		所	築上町カ	大字西八田名	外 5 地内				
補	助	事	業(の	目	的	避難誘導をしたもので	女無線屋外- を迅速に行い である。交付 の整備を図る。	ハ住民の生 付金により	命と財産を事業を実施	で守るため	に、増設工 により、地	事を実施 域住民の
補	助	事	業(の	内	容	防災行政	牧無線屋外 -	子局 6基				
補具	助事	業のタ	始期	及	び終	※期	平成24	1年度					
								24年度					計
事	業 費	'及	びる	さん	寸 金	額	事業費	円 22,050,000	円	円	円	円	円 22, 050, 000
							交付金額	22, 050, 000					22, 050, 000
補具	助事	業の月	戓果	:及	び割		害時に屋夕	沿いに防災ã 小にいる町3 い、地域住	全体の住民	への避難認	秀導を迅速	に行うこと	
事今	業 <i>©</i> 後		善 か					。地域住民(算など情報(――― 美を実施し	、災害時等	に住民へ
	業の記 者 機	関の	活,	用(の有	無	無	m 1 -2 -18 - A					

補	助	事		業	名	築城飛行 等) 整備	「場関連公共用施 情事業	冠設 (消防	に関する	施設:小型	型動力ポン	プ付積載車
補	助	事	業	者	名	築上町						
実	旅	į	場		所	福岡県第	至上郡築上町大字	产広末、安	武、本庄			
補	助事	業	· Ø	目		付積載車にことを踏まえた。とを踏を実施交付金に	当防団第 5 ・第 6 は既に耐用年数を 消防活動に影響 と、当町で検討し をしたものである こより事業を実施 築城飛行場の安	ご過ぎてお どがあところ にすること ですること	り、 頻繁 して、 早急に により、	に故障が列 輌更新の関 更新する。 地域住民の	巻生してい 要望があっ 必要がある ひ生活基盤	へる状況である った。以上のこ っと判断し車両
補	助事	菲	きの	内	容	小型動力]ポンプ付積載車	5購入 3	台			
補具	助事業	の始	期及	なび糸		平成24年	三度					
							24年度					計
事	業費	及 ひ	交	付 金	:額	事業費	円 20, 464, 500	円	円	円	円	円 20, 464, 500
						交付金額	20, 000, 000					20, 000, 000
補具	助事業	の成	是果及	なび評	平価	地元消防団]ポンプ付積載車 より「火災時の よられており、地	消防活動	を円滑化	に実施でき	きるように	こなった」との
事今	業 の 後	改 の		ઈ 及 対	び応	今後とも	」地域住民の理解	军を得な が	ら事業を	実施。		
三章	業の評 者機関	』 のi	舌用	の有	「無	無	田〕を場合け 坐					

補	助	ı I	事	¥	¥ Ě	名	築城飛行場	易関連公共	用施設(交	通施設:高	高塚57号線)	整備事業	<u>:</u>
補	助	事	業		者	名	築上町						
実		施	;	場		所	福岡県築」	上郡築上町	大字高塚				
補	助	事	業	の	目	的	から拡幅の 要があると 施すること) 要望があ : 判断し、	り、工事時 事業を実施 地域住民の	幅員が狭く 期を検討し したもので 生活基盤の る。	ンたところ! ごある。調	早急に工事 整交付金で	をする必 工事を実
補	助	事	業	の	内	容	用地補償		賞 一式 (度) 平成23年 2m、幅員		〔平成24年	手度)
補具	助事	業の	始期	及	び終	※期	平成22年月	度から平成2	24年度				
								22年度	23年度	24年度			計
事	業 費	及 `	びる	を作	寸 金	額	事業費	円 5, 350, 000	円 5, 980, 000	円 23,000,000	円	円	円 34, 330, 000
							交付金額	5, 300, 000	5, 900, 000	22, 900, 000			34, 100, 000
補具	助事	業の	成果	:及	び割	严価				り、離合も生活環境の			
事今	業 <i>(</i> 後		i 善		i 及 讨	び応	今後とも)地域住民	の理解を得	·ながら事業	きを実施。		
	業の記 者 機						無						

補助	事	業	名	築城飛行	万場関連公共 用	月施設(交通旅	五設:椎田 五設:椎田	44号線)	整備事業			
補助事	業	者	名	築上町								
実 施	場	Î	所	福岡県築	至上郡築上町力	(字椎田						
補助事	業 の)目		とから拡幅 あると判断 調整交付金	画の要望があり 所し、事業を写 全で工事を実施	にり、道路幅員)、工事時期を 医施したもので をすることにより ですることにより ですることにより	と検討した ごある。 より、地域	ところ早れ住民の生活	急に工事を	とする必要が		
補助事	補助事業の内容 用地買収・物件補償 一式(平成23年度) 改良舗装工事 延長L=109.8m、幅員W=4.0m(平成24年度)											
補助事業の始期及び終期 平成23年度から平成24年度												
					23年度	24年度				計		
事業費及	び交	付 金	額	事業費	円 6, 360, 000	円 12,700,000	円	円	円	円 19,060,000		
				交付金額	6, 350, 000	12, 300, 000				18, 650, 000		
補助事業の	道路幅員が広くなったことにより、消防車等の緊急車両も入ることが出来る 補助事業の成果及び評価ようになったとの意見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与すること が出来た。											
事業の改善策及び 今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。												
事業の評価に三者機関の	活用	の有	無	無		当該第三者機						

事業費及び交付金額 事業費 4,300,000 5,290,000 14,800,000 24,390,0														
実 施 場 所 福岡県築上郡築上町大字小山田 -	補	助	İ	事	1=7	業	名	築城飛行	了場関連公 _年	共用施設((交通施設:	小山田線)	整備事業	
# 助 事 業 の 目 的 「	補	助	事	美	É	者	名	築上町						
補助事業の目的 さたしていることから、道路改良要望について地区計画に計上されており、工事時期を検討したところ、早急に工事を実施する必要があると判断し、工事を実施したもの。 交付金により工事を実施することにより、地域住民の生活基盤の整何をはかるとともに、築城飛行場の安定的使用に寄与させる。 実施設計 一式(平成22年度) 用地買収・物件補償 一式(平成23年度) 工事延長L=108.3m 道路幅員W-4.0m(平成24年度) 本書の始期及び終期 平成22年度から平成24年度 22年度 23年度 24年度 計	実		施		場		所	福岡県勢	桑上郡築上!	町大字小山	I III			
補 助 事 業 の 内 容 用地買収・物件補償 一式 (平成 2 3 年度) 工事延長L=108.3m 道路幅員W=4.0m (平成 2 4 年度)	補	助	事	業	の	目	的	きたしていり、工事時 断し、工事 数し、工事 交付金に	いることか 時期を検討 事を実施し こより工事	ら、道路改 したところ たもの。 を実施する	良要望につい、早急にコーニンとにより	ついて地区 に事を実施)、地域住」	計画に計上 する必要が 民の生活基	されてお あると判
事業費及び交付金額 円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	補	助	事	業	の	内	容	用地買収	又・物件補作	賞 一式 (平成23年		度)	
事業費	補具	助事	業の	始其	月及	び終	終期	平成22年月	度から平成2	24年度				
事業費及び交付金額 事業費 4,300,000 5,290,000 14,800,000 24,390,00 交付金額 4,300,000 5,250,000 14,700,000 24,250,00 14,700,000 道路幅員の拡幅と未舗装が解消されたため、地元住民から「道路が整補助事業の成果及び評価 備され通行が快適になり、離合が容易になった」との意見が寄せられ、交通施設が一部改善された。									22年度	23年度	24年度			計
道路幅員の拡幅と未舗装が解消されたため、地元住民から「道路が整補助事業の成果及び評価 備され通行が快適になり、離合が容易になった」との意見が寄せられ、交通施設が一部改善された。 事業の改善策及び 合後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施	事	業 費	及	びき	交亻	寸 金	額	事業費				, .	円	円 24, 390, 000
補助事業の成果及び評価 備され通行が快適になり、離合が容易になった」との意見が寄せられ、交通施設が一部改善された。 事業の改善策及び 今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施								交付金額	4, 300, 000	5, 250, 000	14, 700, 000			24, 250, 000
	補具	助事	業の	成身	是及	び割	呼価	備され通行	テが快適に	なり、離合				
								今後とも	地域住民	の理解を得	ながら事業	きを実施。		
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無 注:事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること	三	者機	関の)活	用	の有	無							

補	助	J	事	111	業	名	築城飛行	「場関連公共 原	用施設(交通	施設:坂本上	り松線)	整備事業	
補	助	事	: <u>}</u>	業	者	名	築上町						
実		施		場		所	福岡県築	ミ上郡築上町 /	大字坂本				
補	助	事	業	の	目		幅の要望か 断し、事業 調整交付金	ぶあり、工事時を実施した。 さで工事を実施	時期を検討し ものである。 施することに	が狭く離合す たところ早急 より、地域住 に寄与させる	に工事を E民の生活	する必要	があると判
補	補 助 事 業 の 内 容 改良舗装工事 延長L=179.3m、幅員W=4.0m (平成24年度)												
補」	補助事業の始期及び終期 平成22年度から平成24年度												
								22年度	23年度	24年度			計
事	業 費	及	び	交亻	付 金	額	事業費	円 5, 700, 000	円 5,840,000	円 24, 900, 000	円	円	円 36, 440, 000
							交付金額	5, 700, 000	5, 800, 000	24, 000, 000			35, 500, 000
補具	補助事業の成果及び評価 見が寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することが出来た。												
事今	事業の改善策及び 今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。												
三	業の記者機	関 0	り活	用	の有	無	無			鉴問の名称及び			

補	助	J	事	2	業	名	築城飛行 場)整備事	万場関連公共用旅 事業	正 設(教育)	文化施設:	下城井小学	华校屋外運動
補	助	事	学	纟	者	名	築上町					
実		施		場		所	福岡県第	至上郡築上町大学	产袈裟丸			
補	助	事	業	の	目	的	間使用出来で、支障を来します。	《者等から運動場 そないこと及びイン要望があり、当 のでいることから が が が は な 事業で工事を 築城飛行場周辺	陸や陥没 値町で検討 り早急に整備 実施する	している 箇 したところ 備する必要 ことにより	所があり危 、児童の選 があると半 、教育施認	は 関 であるとし 関 動・行事等に 関断し実施した はの整備を図る
補	助	事	業	の	内	容	屋外運動	助場整備工事 -	一式			
補具	助事	業の	始其	月及	び終	終期	平成24	1年度				
								24年度				計
事	業 費	'及	び 2	交亻	寸 金	額	事業費	円 27, 200, 000	円	円	円	円 27, 200, 000
							交付金額	27, 100, 000				27, 100, 000
補具	助事	業の	成果	具及	び割	巫価	に運動等が	が場を整備したこ いできるようにな の環境改善に寄与	こった」とい	の意見が寄		
	業 <i>0</i> 後	D 改	大善 の	: 第	夏 及	び 応	今後とも)学校関係者・地	地域住民の	理解を得な	がら事業を	≠実施。
	業の記 者 機						無					

補	助	J	事	3	業	名	築城飛行 場)整備事	万場関連公共用施 事業	起 設(教育)	文化施設:	西角田小学	华校屋外運動
補	助	事	:	色	者	名	築上町					
実		施		場		所	福岡県築	至上郡築上町大字	と上の河内			
補	助	事	業	の	目	的	間使用出来で、改善のである。	《者等から運動場 をないこと及び不り要望があり、当 から から から から から から から から から から から から で ていることから から から から から から から から から から から から から か	陸や陥没 師町で検討 中急に整 実施する	している 箇 したところ 備する必要 ことにより	所があり危 、児童の選 があると半 、教育施認	は険であるとし 動・行事等に 川断し実施した めの整備を図る
補	助	事	業	の	内	容	屋外運動	加場整備工事 -	式			
補具	助事	業の	始其	月及	てび終	※期	平成 2 4	1年度				
								24年度				計
事	業 費	'及	び	交亻	付 金	額	事業費	円 19, 100, 000	円	円	円	円 19, 100, 000
							交付金額	18, 900, 000				18, 900, 000
補具	助事	業の	成男	是及	び割	邳価	に運動等か	が場を整備したこ いできるようにな の環境改善に寄与	こった」と	の意見が寄		
事今	業 <i>0</i> 後		女善 の	第 ②	夏及 対	び 応	今後とも)学校関係者・地	地域住民の	理解を得な	がら事業を	҈実施。
	業の記 者 機						無					

補	助	Ī	事	¥	É	名	築城飛行場関連公共用施設(交通施設:湊 1 1 5 号線)整備事業										
補	助	事		美	者	名	築上町	築上町									
実	-	施		場		所	築上町大	:字湊									
補	助:	事	業	の	目	的	合が困難な 検討した結 施したもの	本路線は、他の路線と鋭角に交差しており、幅員が狭隘なため車両同士の離合が困難なことから、地域住民から道路改良の要望があり、当町で実施時期を検討した結果、早急に道路改良を実施する必要があると判断し、改良工事を実施したものである。交付金により工事を実施することにより、地域住民の生活基盤の整備をはかると共に、築城飛行場の安定的使用に寄与させる。									
補	助:	事	業	の	内	容	用地買収	実施設計 一式 (平成 2 3 年度) 用地買収 A=1,054 ㎡ (平成 2 4 年度) 改良工事 延長 L=220m、幅員W=7.0m (平成 2 5 年度)									
補」	補助事業の始期及び終 期 平成23年度から平成25年度																
								23年度	2 4 年度	2 5年度予 定			計				
事	業 費	及	び	交斥	付金	金額	事業費	円 4,510,000	円 7, 082, 000	円 50, 000, 000	円	円	円 61, 592, 000				
							交付金額	4, 500, 000	7, 000, 000	45, 000, 000			56, 500, 000				
補」	補助事業の成果及び評価はできないが、用地 価 工事が完了していないことから、具体的な成果及び評価はできないが、用地 面 取得に対しても地元の理解が円滑に図れた。																
事今	業 <i>0</i> 後			季 策 文		び 応	今後とも地	地域住民の理	解を得なが	ら事業を実施	0						
第	業の三者	機員	製の無	活	用の	有				老機関の名称							

補	補助事業名						築城飛行場関連公共用施設(交通施設:上別府松丸線)整備事業									
補	助	事	• 3	業	者	名	築上町	築上町								
実		施		場		所	福岡県第	福岡県築上郡築上町大字松丸								
補	助	事	業	の	目		入ることが 急に工事を で工事を写	築上町松丸自治会より、道路幅員が狭いため離合が困難であり、緊急車両も入ることが出来ないことから拡幅の要望があり、工事時期を検討したところ早急に工事をする必要があると判断し、事業を実施したものである。調整交付金で工事を実施することにより、地域住民の生活基盤の整備をはかるとともに、 築城基地周辺の防衛施設の安定的使用に寄与させる。								
補	実施設計 一式(平成21年度) 用地補償・物権補償 一式(平成22年度) 改良舗装工事 延長L=214.8m、幅員W=4.0m(平成23年度) 改良舗装工事 延長L=154.9m、幅員W=4.0m(平成24年度)															
補且	助事	業の	始其	朝及	てび糸		平成21年	F度から平成	24年度							
				交包				21年度	22年度	23年度	24年度		請 			
事	業 費	及	び		付 金	額	事業費	円 10, 130, 000	円 28, 200, 000			円	円 81, 320, 000			
							交付金額	9, 850, 000	28, 000, 000	21, 100, 000	20, 000, 000		78, 950, 000			
補具	助事訓	業の	成月	果及	び割				・ ったことによ しが寄せられ							
事今	業 <i>0</i> 後		女 連 の		章 及 対	び応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。									
三	業の記 者機	関の	7) 活	用	の有	無	無無悪な活用」を提合は、当該第三者機関の名称及び構成員築を記載すること									

補	助	事		業	名	築城飛行場関連公共用施設 (産業の振興に寄与する施設:東築城転倒ゲート設置)整備事業									
補	助	事	業	者	名	築上町	築上町								
実	į	拖	場	ī	所	福岡県地築上郡築上町大字東築城									
東築城地区の水利関係者及び地元自治会の強い要望により、東 築城地区に存在する用水路からの堰上転倒ゲートが現在、老朽んが進み作動できない状況であることから、安定した用水の供給が 見込めないこと、また大雨時に転倒ゲートが作動しないことによる 道路および市街地の冠水が懸念されるため、早急に工事を実施 する必要があると判断し、工事を実施したものである。 交付金により工事を実施することにより、農業経営に不可欠が 農業用施設の適正な維持管理が図られる。									、老朽化 の供給が ことによ 事を実施						
補	補 助 事 業 の 内 容 転倒ゲート設置 1式 (800*550)														
補具	助事業	芝の始	期及	及び糸	終期	平成24年	三度								
							2 4 年度					計			
事	業 費	及び	交	付 金	額	事業費	円 3, 170, 000	円	円	円	円	円 3, 170, 000			
						交付金額	3, 000, 000					3, 000, 000			
転倒ゲートが更新されたことで、水利関係者からは「安原補助事業の成果及び評価 用水の確保と適正な維持管理が行えるようになった」との意寄せられており、利便の増進が図られた。															
事今	業 の 後			新 及 対	び応	今後とも)地域住民(の理解を	得ながら	事業を実	拖。				
	業の評 者機[無									

補	助	J	事	Ī	業	名	築城飛行		施設:防;	火水槽)	整備事業					
補	助	事		業	者	名	築上町	築上町								
実		施		場		所	福岡県築	福岡県築上郡築上町大字下香楽								
補	助	事	業	0	目	的	民から防り ころ、早急 施したもの 次年度に より、消防	本町下香楽地区は上水道未整備地区であり、万一の火災に備えて地区住民から防火水槽を設置してほしいとの要望があり、工事時期を検討したところ、早急に実施する必要があると判断し、当該工事に係る実施設計を実施したものである。 次年度は、当該実施設計を基に調整交付金事業で工事を実施することにより、消防水利の充実を図り、火災から町民の生命財産を守り、築城飛行場の安定的使用に寄与させるものである。								
補	助	事	業	の	内	容		実施設計 一式(平成24年度) 防火水槽設置工事 耐震性防火水槽:40m3 2基(平成25年度)								
補具	助事	業の	始	期及	びが	咚期	平成24年度から平成25年度									
								24年度	25年度 予定				計			
事	業 費	,及	び	交亻	付 金	金額	事業費	円 2, 262, 750	円 16, 000, 000	円	円	円	円 18, 262, 750			
							交付金額	2, 200, 000	15, 000, 000				17, 200, 000			
補」	補助事業の成果及び評価 設計の内容に対しても地元の理解が円滑に図れた。											きないが、				
事今	業 <i>0</i> 後		女 連 の		ઈ 及 対	び 応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施。									
	業の記 者機						無		\\\ \rightarrow \r							

補	前 助 事 業 名						築城飛行場関連公共用施設(産業の振興に寄与する施設:下別府 第2水路)整備事業									
補	助	事	. 44	業	者	名	築上町	築上町								
実		施		場		所	福岡県築上郡築上町大字下別府									
補	助	事	業	の	目	的	水路) であ 雨時などに として工事 に工事を 交付金に	下別府第2水路の地域住民より、下別府第2水路が現在、未整備(土水路)であることから、安定した取水量が見込めないこと、また、降雨時などに法面が崩壊するなど管理が容易でなく農作業に影響があるとして工事の要望があり、町内部で工事時期を検討したところ、早急に工事を実施する必要があると判断し、工事を実施したもの。 交付金により工事を実施することにより、地域住民の生活基盤の整備をはかるとともに、築城飛行場の安定的使用に寄与させる。								
補	助	事	業	の	内	容	水路改良	水路改良工事L=86.7m								
補具	助事	業の	始	期及	なび糸	終期	平成23年度~平成24年度									
								23年度	2 4 年度				∄			
事	業 費	き費及び		交,	付 金	額	事業費	円 4, 299, 000	円 3, 590, 000	円	円	円	円 7, 889, 000			
							交付金額	4, 140, 000	3, 100, 000				7, 240, 000			
補助事業の成果及び評価							用水路が整備されたことで、地域住民から「用水路からの取水及び 管理が容易になった」との意見が寄せられており、利便の増進が図ら れた。									
事今	業 <i>(</i> 後		え の			び 応	今後とも	っ地域住民の	理解を得な	がら事業	を実施。					
	業の記者 機						無									